

河北新報

2024年（令和6年）11月12日（火）

“東北創生へREIT学ぶ”

北海道リートの概要を説明する浜野社長（左）



不動産や金融の専門家でつくるアセットブレインズ仙台ネットワーク（仙台市）は8日、仙台市青葉区の江陽グランドホテルで、200回目の例会となる「不動産ファンドフォーラム2024イン仙台」を開いた。地域特化型REIT（不動産投資信託）を活用した地方創生の方策を探った。

前半は北海道リート投資法人を運営する北海道アセットマネジメント（札幌市）の浜野恭義社長が講演し、リートの設立経緯や概要を説明した。企業の保有資産を減らして財務を軽くする「アセットライト経営」

東北創生へREIT学ぶ

が主流だとし、資金調達の選択肢を広げるREITの機能を紹介。「不動産情報の交差点としての効果もある」と利点を強調した。

後半に登壇した不動産証券化協会（東京）フェローを務める宮城大の

仙台でフォーラム

田辺信之客員教授は「土地の有効活用は、地域の活性化に資する」と指摘。東北の地方創生に貢献するREIT創設に期待を寄せた。

例会は1998年にスタート。フォーラムはオンライン視聴を含め約200人が参加した。